

「日韓会談文書・全面公開を求める会」公開シンポジウム

日韓条約と「日韓合意」をつなぐもの

～真の解決とは何か～

急転直下の「12・28合意」。被害者の意思を無視した「最終的かつ不可逆的」との合意内容は、植民地清算を無視し、戒厳令下で締結された「完全かつ最終的」という日韓条約を彷彿とさせるものでした。しかし、その一方で、日韓条約では真の意味では解決していなかったからこそ、日韓両政府が「12・28合意」を演出する必要が生じたともいえるのではないのでしょうか。50年の時を隔てた二つの「合意」をつなぐことによって、そこにある矛盾をえぐりだし、「真の解決」とは何かを考えます。

【日時】2016年6月26日（日）午後1時半～4時半（1時開場）

【会場】港勤労福祉会館第1洋室（港区芝5丁目18番2号）

最寄駅：JR山手線、京浜東北線田町駅西口（三田口）徒歩5分、地下鉄浅草線、三田線三田駅A7出口徒歩1分

【参加費・資料代】500円

公開シンポジウム

◆問題提起

「日韓条約と『日韓合意』をつなぐもの」

吉澤文寿共同代表

◆シンポジウム

「慰安婦問題 日韓合意の舞台裏」（仮）

報告者—箱田哲也さん（朝日新聞論説委員）

「韓国総選挙与党大敗で戦後補償問題はどうか」（仮）

報告者—キル・ユンヒョンさん（ハンギョレ
新聞記者）

「『12・28合意』—被害当事者は何を求めているのか」（仮）

報告者—渡辺美奈さん（アクティブ・ミュージアム 女たちの戦争と平和資料館
(wam) 事務局長）

司会：太田修共同代表



日韓会談文書・全面公開を求める会 090 - 9204 - 7607 (山本)